

得意先喪失補償額算定書

(1) 製造業

業種分類No.		業種内容：			法人・個人			
資本金	千円	年間売上高	千円	売上減少率	%	全従業員数	名	
〔A〕 売上高	①	売上高						
	②	△売上値引等						
	③	雑収入					収益認定の際に計上できるもの	
		計						
〔B〕 製品売上原価	(a) 材料費	①	期首材料棚卸高					
		②	材料仕入高					
		③	△期末材料棚卸高					
			計					
	人件費 (b)	①	雑給					臨時雇用の賃金・給与
			計					
	(c) 経費	①	特許権利使用料					
		②	外注加工費					
		③	動力・光熱費					
		④	運搬費					外注運賃・自社車両費 (燃料・修繕費を含む。)
		⑤	消耗品費					消耗工具・器具を含む。
			計					
		変動費合計((a)+(b)+(c))						
		(d)	総製造費用					
	(e)	製品売上原価						
〔C〕 商品売上原価	①	期首商品棚卸高						
	②	商品仕入高						
	③	△仕入割引等						
	④	△期末商品棚卸高						
		計						
〔D〕 販売費・一般管理費	①	容器包装費					荷造材料費を含む。	
	②	発送配達費					荷造運搬費、車両燃料費、修繕費を含む。	
	③	販売促進費					販売手数料、見本費を含む。	
	④	雑給					臨時雇員の賃金・給与	
	⑤	外注費						
		計						

## (1) 製品売上原価

① 製造原価の中の総製造費用（材料費、人件費、経費）を固定費と変動費に分解する。

$$\frac{\text{変動費}}{\text{総製造費用}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{[E] \quad \% \text{ (変動費率)}} \quad (\text{小数点以下第4位切り捨て})$$

(注) 総製造費用 = 材料費 + 人件費 + 経費

## ② 製品売上原価の中の変動費

$$\begin{aligned} \text{変動費} &= \text{製品売上原価} \times \text{変動率} \\ &= (e) \times [E] = \boxed{[F] \quad \text{円}} \end{aligned}$$

(注) 製品売上原価 = 期首製品棚卸高 + 当期製品製造原価 - 期末製品棚卸高

## (2) 商品売上原価

$$\text{変動費} = \text{商品売上原価} = \boxed{[C] \quad \text{円}}$$

(3) 販売費・一般管理費及び営業外費用の中から変動費を抽出する。

$$\text{変動費} = \boxed{[D] \quad \text{円}}$$

## (4) 限界利益率

$$\begin{aligned} \frac{\text{売上高} - \text{変動費}}{\text{売上高}} &= \frac{[A] - \{ [F] + [C] + [D] \}}{[A]} \\ &= \quad = \quad \% \\ &= \boxed{\text{限界利益率} \quad \%} \quad (\text{小数点以下第4位切り捨て}) \end{aligned}$$

(5) 一時的に得意を喪失することによって通常生ずる損失額

従前1か月の売上高 × 売上減少率 × 限界利益率  
(1円未満切り捨て)

$$= \quad (\text{1円未満切り捨て}) \\ \boxed{\text{補償額} \quad \text{円}}$$